

6月定例会藤田議員の一般質問



米原市民報

日本共産党米原市議団
清水隆徳 Tel.52-1969
藤田正雄 Tel.55-1128
太田幸代 Tel.54-2286

http://www.jcp-maibarashigidan.com

熊本地震の教訓をどのように生かすのか

6月2日の一般質問の詳細をお知らせします。日本共産党米原市議団のトップバッターは藤田市議です。今回の一般質問は、熊本地震をはじめとする大災害について、どのような教訓を今後の防災計画に反映すべきかを中心に、一般質問を行います。この民報が発行される頃は、一般質問は終わっていますので、当局の回答は、次号以降でお知らせします。

災害ボランティアのあり方を問う

本年4月に熊本地方を震源とする地震が発生しました。今後、米原市においても今回の地震や過去の大災害の教訓を生かし、今後の防災計画に反映していく必要があると考え、一般質問を行います。

地域ボランティアの活動拠点を問う

大規模災害時には外部のボランティアに頼らざるを得ない。そのためには、普段から市民が自主的にボランティア活動に参加し、非常時にはコーディネートが必要と考える。山東ボランティア連絡協議会の総会では第1に組織人員が減っており、高齢化がすすんでいること。第2にボランティアセンター三島荘が平成28年度末で使用できなくなる。これらに大変危機感を持っておられた。

問1、今回の熊本地震により、どのような教訓を防災情報システム構築に生かされようとしていますか。
問2、これらのボランティアの対応は行政が行うことは無理と考えるが、これらの対応はどこが主体となり、行政としては、どのような支援が可能と考えていますか。
問3、災害時これらの連絡を取り持つボランティア・コーディネーターが必要と言われているが、現在これらに対応できる方はいるのか。また研修等はしているのか。
問4、ボランティアの活動は平時から対応を想定していくことが必要と考える。現在このような対応について想定され訓練はされているのか。また福祉避難所についての対応はどうなっているのか。
問5、これらの対応については、情報機器をフル活用し、地域のきめこまかな情報と災害時のボランティア拠点との情報交換が必要だが、その情報交換についてのシステムはどのように考えているのか。
問6、その災害時のボランティア拠点は米原市地域福祉センターゆめホールとなつ

ています。現在のゆめホールで拠点施設としての機能は果たせるのか。
問1、行政として現在の市民のボランティア活動について現状と今後の方向性についてどのように考えているのか。また、どのような支援策を持っているのか。
問2、三島荘は社会福祉協議会の中では米原市ボランティアセンターとして現在市の民のボランティア活動について現状と今後の方向性についてどのように考えているのか。また、どのような支援策を持っているのか。
問3、平時時の米原市のボランティアの拠点施設の必要性、どのように考えているのか。
問4、ボランティアについて有償か無償かの問題が出ていました。介護事業や市委託事業では、有償ボランティアが前提となっている事業があります。これらの点について、市としてどのように考えているのか。
問5、ボランティア活動について交通手段の問題が多く出された。今回に新たな公共交通のあり方の検討の中で、ボランティア拠点施設へのアクセスについて考えていますか。

お知らせ
日本共産党米原後援会主催
参議院選挙勝利とほたる鑑賞のつどい
日時 6月6日(月)午後5時から
場所 藤田事務所
米原市夫馬552
55-1527
※参加いただける方は、下記に連絡ください。
米原地区 富田茂 54-0901
近江地区 堀内良孝 090-9166-3421
山東伊吹 藤田正雄 090-3490-3106
※会費は1000円程度を予定しています。
※飲酒される方は、お車の運転をしないでください。

